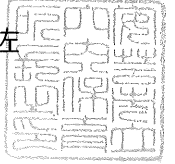


安芸市福祉事務所
 所長 山崎美佳 様

安芸市立穴内保育所
 所長 千光士美佐



令和3年度穴内保育所園評価報告

1 保育所における自己評価の記録

月	自 己 評 価		
4月	○園経営計画の作成 ○本年度の重点目標の設定（評価計画） ○園評価項目・指標の設定	11月 1月	○保護者へのアンケート実施 ○アンケート集計・分析 ○最終評価の実施 （職員の自己評価・園の自己評価）
5月	○職員への園経営計画・園評価計画の説明と 共通理解	2月	○保護者・設置者への報告 改善策の検討
8月	○中間評価の実施 （職員の自己評価・園の自己評価）		
9月	○保護者への園評価アンケート協力の説明 ○設置者への中間評価の報告、改善策の検討		

2 評価結果

総合的な自己評価結果について

〈成果〉

① 保育・教育活動の充実

身体を使った遊びを意識的に取り入れることで、子どもたちは身体を動かすことが楽しくなってきた。子どもたちのやりたい、上手になりたいと思う気持ちを育てながら身体づくりをし、日常の保育の中で経験したこと、見たこと、考えたことなど友達の表情や、言葉、態度から友達の思いに気づくことが増えてきた。

② 職員の育成・資質向上や運営

担当分掌においては内容を理解し、自分の役割を自覚し参画するようになってきている。コロナ禍での新しい行事への取り組み方を話し合い、職員みんなで運営することができた。研修には参加することができ、今後の保育に役立てている。

③ 地域に開かれた園づくり

登降所時に保護者には子どもたちの姿や保育内容のことを伝えながら保護者からの相談にも対応することができた。また小学校との交流もコロナ禍ではあるが、三密に配慮しつつ行うことができた。

〈課題及び主な改善策〉

- ① 保護者に行ったアンケートの分析結果から、子ども達の絵本に関する関心が少ないと感じていることがわかった。今後は保育や家庭で絵本と触れ合う時間を増やすよう、年齢に合った絵本の紹介や保育所で子どもの好きな絵本の紹介、絵本の貸し出しを行うなど絵本の情報発信をしていく。
- ② 子ども達の健康、安全に留意しながら成長発達に寄り添った保育を心がけていく。
- ③ 今年度の取り組みや成果、保護者アンケートの結果を参考に次年度は改善しながらより良い保育所になるよう園全体で連携し取り組みを行っていく。

園評価

(穴内保育所)

経営の柱	今年度の重点目標	評価項目	評価指標と評価結果				分析・考察
			取組指標	結果	成果指標	結果	
☆保育・教育活動の充実	子どもの年齢発達に合った生活の中で遊びに意欲的に取り組む	〔全体的な計画・教育課程〕 身体を使った遊びの生活環境を整え充実させていく	4 子どもが望んだ身体を使った遊びが楽しめるよう子ども自ら環境を整えて遊びを展開していく	2.8	4 子ども自らが室内や戸外で進んで身体を使った遊びを楽しもうとする	3	身体を使った遊びを意識的に取り入れることで、子どもたちは身体を動かすことが楽しくなってきた。子どものやりたい気持ちを育て、身体づくりにつながるような環境構成や取り組みの工夫を今後も行っていく。
			3 子どもが望んだ身体を使った遊びが行えるよう環境を整える		3 室内や戸外で身体を使った遊びを楽しむ		
			2 身体を使った遊びが行えるよう環境を整え遊びを展開していく		2 室内や戸外で身体を使って遊ぶ		
			1 身体を使った遊びが行えるよう環境を整える		1 促されて室内や戸外で遊ぶ		
◇職員の育成・資質向上や運営	共通課題に取り組む職員の体制づくり	〔組織運営〕 園務分掌を整理し責任区分を明確にして企画立案する	4 担当分掌を責任をもって遂行するとともに、新たなアイデアや改善を提言する	2.4	4 担当分掌を責任をもって遂行するとともに、新たなアイデアの提言ができた	2.4	担当業務においては企画、立案できたが充分ではなかった。コロナ禍での新しい行事への取り組み方など、みんなで話し合い同じ意識で取り組めた。
			3 担当分掌を責任をもって企画立案する		3 担当分掌を責任をもって企画立案できた		
			2 担当した業務について振り返り、改善したり職員会等で報告したりする		2 担当した業務について振り返り、改善したり、職員会等で報告したりする		
			1 担当した業務を遂行する		1 自分の役割を自覚できた		
	〔研修〕 共通理解を持ち保育を充実させていく	4 職員会の中で研修内容を共有して課題を出し合い、全職員が協力して課題に取り組み保育を向上させていく	3.1	4 研修内容を話し合い、協力して保育の実践にいかした	2.8	研修に参加し、研修内容は職員会を通し共有することができた。今後も研修には積極的に参加して行くようにする。	
		3 定期的に職員会を行い、計画や記録を取り提出する		3 75%以上			
		2 月1回職員会を行う		2 50%以上			
		1 回覧や口頭で伝達する		1 50%未満			
◎地域に開かれた園づくり	地域、保護者に信頼され共通理解を持って子どもの発達を充実させていく	〔情報提供〕 園だよりや、クラス便りの発行、主として保護者を対象とした情報提供をする	4 週1回以上発行	2.3	4 (3に加え)より保護者が見やすいような紙面環境である	2.7	園だより、クラスだより、給食だより保健だよりの発行ができた。発達の視点を保護者にわかりやすく伝えられるように心がけていく。
			3 2週間に1回程度発行		3 (2に加え)子どもの活動内容に発達の視点や意図が加えられている		
			2 3週間に1回程度発行		2 (1に加え)子どもの活動を伝える内容がある		
			1 月に1回程度発行		1 お便りの内容がおしらせや予定だけである		
	〔保護者との連携〕 子どもたちの姿や保育への理解を深める機会をつくる	4 子育てのことを共有し、必要に応じて家庭訪問や面談を行う	2.6	4 保護者が子育ての中で感じる喜びや不安、悩みをよく話してくれる保護者 75%以上	2.9	保護者には子どもの発達のこと、保育内容のことを伝えながら、保護者からの相談にも対応してきたこれからも保護者が相談しようと思える関係づくりを目指す。	
		3 子どもの様子や子育てについて連携・共有できる機会を設ける		3 50%以上			
		2 登降所時に子どもを中心にした話をする		2 30%以上			
		1 保護者に進んで挨拶をしたり、話しかけたりする		1 30%未満			